

経営比較分析表

岐阜県 養老町

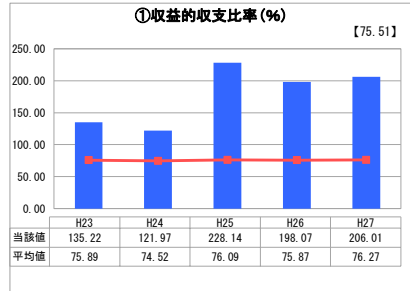
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.52	1,600

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,548	72.29	422.58
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,281	15.00	152.07

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



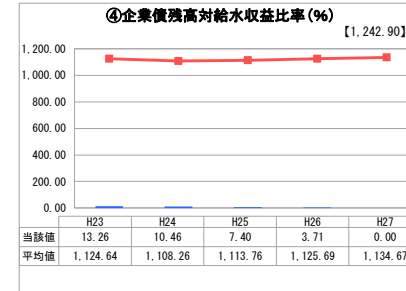
「単年度の収支」



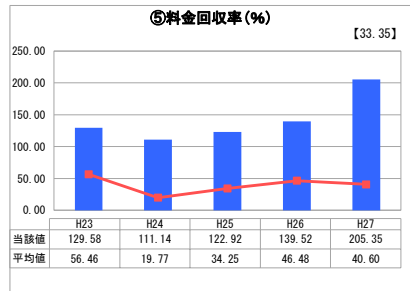
「累積欠損」



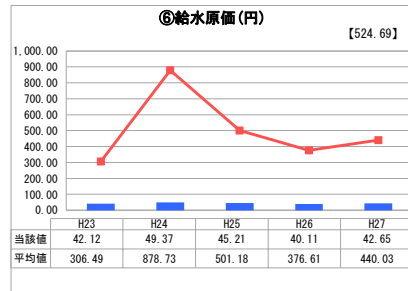
「支払能力」



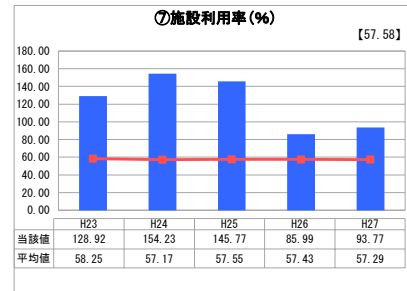
「債務残高」



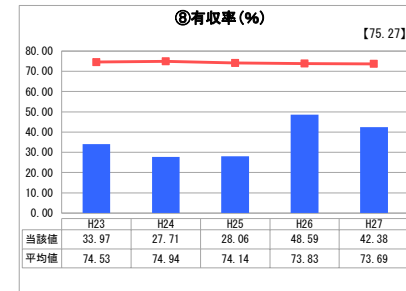
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

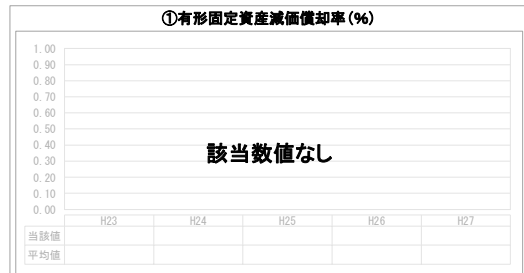


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

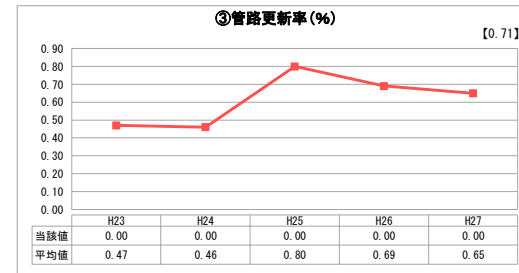
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

指標が100%以上であれば、単年度の収支が黒字であることを示す「収益的収支比率」は206%で単年度収支は黒字となっています。企業債務高の規模を表す、「企業債残高対給水収益比率」については、0%で企業債残高はありません。収益に関して数字を見ると健全であると判断されます。施設利用率は平均より高い数字ですが、有収率が低いため、水道施設や給水装置を通して給水される水量が収益に結びついていないため、埋設管での漏水が考えられます。現状、漏水による修繕工事が多発しているため、漏水調査を行い、早期発見・対処することで有収率の低下を防ぐことができ、効率性を改善できると考えられますが、施設がかなり古いので、今後行っていかなければならない施設更新等を考慮すると、さらなる財源の確保が必要であると考えられます。

2. 老朽化の状況について

事業開始からおよそ44年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、埋設管の漏水や設備の故障が頻繁に発生している。そのため適切な施設更新を行っていく必要があると考えられます。

全体総括

施設の老朽化が顕著であるため、早期の施設更新が必要であると考えられます。現在収益に関して数字上は健全であると判断されますが、施設更新を継続的に実施するための財源は不足しており、財政的な負担の確保が課題であると考えられます。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。